

磐城時報

編者 石城郡平町 編輯部 石城郡平町 印刷部 石城郡平町 電話 〇〇〇〇 發行所 石城郡平町 電話 〇〇〇〇 印刷所 石城郡平町 電話 〇〇〇〇 廣告料 一行十文字五錢 一行二十文字十錢 一行三十文字十五錢 一行四十文字二十錢 一行五十文字二十五錢 一行六十文字三十錢 一行七十文字三十五錢 一行八十文字四十錢 一行九十文字四十五錢 一行百文字五十錢 休刊 日刊（日曜、祭日）

更に向ふ三週間

休業を余儀なくされた

預金者に對して濟まぬこと 磐城草野支配人語る

開業の一日も早からん事を一般午前十時から平町元石城郡役所から希望されてゐた平町磐城銀行に開き在仙臺磐城郷友會が財團行ではその後重役、行員一同懸法人組織に許可された報告をな命の努力で帳簿整理に従事するし各種事項を打合せた。

一方有力なる銀行と合同すべく計劃をすゝめてゐたが、公示した二週間の休業中には開店の運びに至らなかつたので更に六月五日から三週間休業を行ふ事になつた、之について同行支配人草野順平氏は語る。

北海道炭の進出で

常磐炭脅やかさる

財界の不況から昨春來常磐地方汽車賃よりも北海道より東京迄一帯の石炭の賣足極めて不況の汽船運賃の方が遙かに低廉な約十萬噸からの貯炭が今尚ほ炭の山々にうづ高く積まれ鑛山賣捌地とする東京市場に於ても其の半はにも至らず又提携銀行との折衝も確答を得るに尙ほ數日を要するものあり従つて公示したる休業期間を遺憾ながら更に六月五日より廿五日迄三週間延期するの不得止事情に立至り預金者各位並に株主諸彦に申譯無之謹て休業延期の事を表明するものであります。

警中校増築

控所裏へ二教室 本縣土木課に於いて指名入札に關する善後策について協議を附した縣立磐城中學校舎増築請なした。

預金善後策

郡農會で 石城郡農會評議員會は四日午前十時から平町元石城郡役所に開き磐城銀行に預金してゐた會費に關する善後策について協議をなした。

町村長會

評議員會 石城郡町村長會評議員會は四日

東京市外の鶴見に築港の計劃を平町十五町目スッラン撞球場三居るが三井の計劃は北海道成積左の如く盛會を極めた、尙炭を直接汽船運搬に依つて東京は六月からは三十勝會を十勝會市場に送り出さんとするもので改める筈である。

スズランの三十勝會

東京市外の鶴見に築港の計劃を平町十五町目スッラン撞球場三居るが三井の計劃は北海道成積左の如く盛會を極めた、尙炭を直接汽船運搬に依つて東京は六月からは三十勝會を十勝會市場に送り出さんとするもので改める筈である。

弓劍試合

湯本町温泉神社祭典をトし湯本武徳會では弓道と劍道の試合を行つたが成績左の如し。

立花氏の三洋丸

本年最初の鯉漁 小名濱町立花雄七所有鯉船三洋丸は過般來鯉漁に出漁中の處千葉縣野島崎東南南三十里で附近鯉千本を漁獲し三日朝小名濱港に入港陸揚げしたが水揚相場二十割で總價格千六百圓に達した

十丹賭博

茨城縣久慈郡金館村大字下里勝生村當時内郷村字御代境魚行商前科二犯岩間初太郎（五九）新潟縣西蒲原郡下栗津村生れ當時平町長橋町屋根前科一犯小平清松（七〇）の兩名は二日午後五時頃十丹と稱する花合せ賭博をな

カフエーの女給の着物を盗む

茨城縣多賀郡助川町生れ當時平夜盜賊忍び入り二ツ重ねの箆筒町三丁目和泉屋方カフエー女給の上部二つだけを持ち去つたも川俣フジ（十九）は二日午後七時のあり平署では不思議な盜賊と見て調査中である。

賭博の片割れ

舞戻つて捕はる 愛媛縣宇摩郡利子山村生れ當時湯本町上町賭博常習者越智新一（三四）は過般湯本町に於て賭博をなし居る現場に踏み込まれた際逃走所在不明となつたが三日湯本町に來た處を平署に捕はれた。

不思議な賊

平町立町古着商榷松某方に三日

日本少女歌劇團

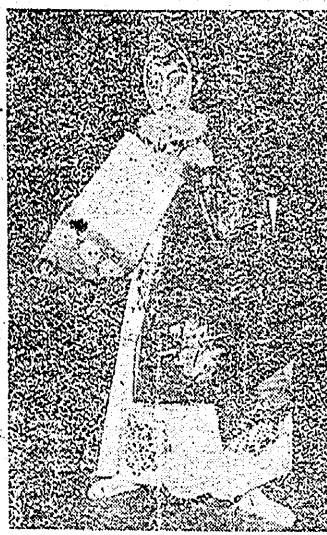
久方ぶりで平町に來る 本社で愛讀者慰安

一年振りで山路妙子、兒島光子の御馴染の日本少女歌劇座が六日から聚樂館に來る。

一座は新進四期生に本社日下温泉から選抜して來た優秀な樂士十余名を加へた大一座で野球部も花形揃ひださうである。

平町での公演は僅に二日間限り、上演脚本は特に逸品揃ひ選び、各地にて折紙付のもののみを上演する筈で幕合には特に樂長山田ゆたか氏の作曲「平町行進曲」のステージ演奏を試みる。

若い女優さん達が得意とする



この如き立派なものに、獨唱はアルト兒島光子の獨擅場裡のもの、由である。上演曲目は、童話歌劇モガ水兵、歌劇

驚いた!!!

こうまで安いとは
— 加納活版所の印刷物

美しい菜の花よ
陽炎の中にぞだつて
緑の麥の間に眞黄に輝いて
春の畑をいろどる花は
へんに可愛い花よ
私は毎年春になると
お前の咲いてゐる所を尋ね
お前の美しさを歌ふのだ。

時報文藝

菜の花

片 寄生
菜の花よ
お前は何てなつこい花だ

本社の愛讀者慰安のため、特別に愛讀者優待觀覽券として、一等席七十錢の所を大優待する方針を樹てゝ、

平劇場の替り狂言

平劇場の歌舞伎劇は初日以来大入満員を續けてゐるが、四ノ替り狂言の如し。

- ▲一番目 吉田御殿鹿子の振袖 (大久保彦左下門の盟登城)
- ▲中幕上 傾城阿波の鳴門 (どんでろ大師の弓矢鶴子別れ)
- ▲中幕下 本朝二十四孝 (八重垣回香場より狐火まで)
- ▲二番目 一谷嫩軍記 (熊谷陣屋物語りの場)

映 畫 界

鐵 路 の 狼

草深き土地が文化の恵を受け、近には幾多犠牲の魂を要求する、是もその哀史の一つである。或る草深き地に文化の移入を自任して鐵道敷設に従事してゐる草村氏とその愛娘英美子とは附近の部落に勢力を張つてゐる混血兒のペンの爲め悩まされてゐた。一日肉身の妹を攫つて此土地に狐然と男らしい姿を現はした狼の鐵道で渡り者の三四郎を救つて深夜草村氏の家を食を求めた、令嬢英美子は優しく彼等に馳走し又酒場にて鐵道をペンのピストルから救つた。それから狼の鐵道の胸を強腕に草村氏の爲に働く事となつた、その後鐵道は妹がペンの悪慮に仆れた事を知つたが草村氏の寛い心と英美子の優しい心根に思ひ止つてゐた憤怒はペン一味の横暴が甚だしくなり工事破壊の舉に出するに及んで奮然と立つて復讐に出た、そして美事ペン一味を仆して復讐はなつたが争闘の中に草村氏始め義兄弟二人を失ひ今又彼も逝つた。今日鐵道は敷かれ、問もなく文化は此處に運ばれてゐたが誰か此沿線に乗じてこの哀話を思ひ出さずに居られやう(平館)

謹 告

帳簿整理のため休業中の處尙未了に付更に六月五日より六月二十五日迄休業仕候

六月五日 株式会社 磐城銀行

日本少女歌劇

華かな一行七十名

一、六月六、七日兩日
一、平町聚樂館

上 映 種 目

- 童話歌劇 **モガ** 水兵一幕
- 支那史歌劇 **舞姫** 李花二幕
- 新 作 **フオリオ** 又七曲
- 大史劇 **白虎** 隊二幕
- オペレッタ **ネオミリタリスム** 二幕

後援 磐城新聞社 常磐毎日新聞社 磐城時報社

讀者優待券を御持参下さい 特別に御優待申し上げます

青 應 山 家 傳

中風靈藥 定價(一週分)一・九〇 (二週分)三・七〇 (三週分)五・五〇

男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下げ、頭痛、言語難澁、半身不隨、其他中風より起る諸症に偉効を奏す。是非御試用を勧め

代理店 平町五丁目角 **山野邊藥局**

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 **西村屋藥舖** 平町二丁目 電話 三番

涼しさをそよめる

夏ノレンテカン

各種豊富に入荷しました
一枚五十銭から一圓五十銭迄
外に夏スタレ 數種(三十銭から二圓五十銭まで)

販賣所 **伊勢屋商店** 平町四丁目(電話四五番)

營業 銘由良 酒乃助 詰 乃助詰 酒乃助詰 乃助詰

永山酒造店小賣部 平町四丁目平驛通り 出張販賣所 電話二〇七番

金牌受領

郡山市開催 商工博覽會ニ於テ

銀牌受領

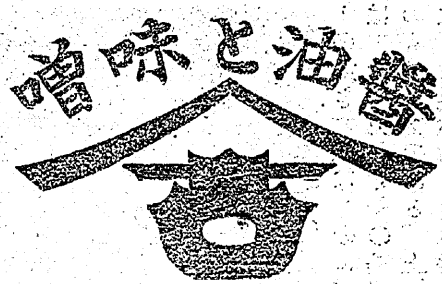
仙臺市開催 東北産業博覽會ニ於テ

右は今回開催の兩博覽會に於て入賞の榮を擔へ申候 御披露券々今後一層の御引立御用命希上候

印半天 用達所 **草野染工場** 平町(電話三四八番)

耳鼻咽喉科

新築 移轉 場所 **合津醫院** 平町仲田町七一 電話五五九番



福島縣平町 **山崎合名會社** (營業部専用) 電話一〇七番 (一般用) 電話二七番 振替東京一九七五五番 上野車坂四三三 **東京支店** 電話下谷五七二番 振替東京六八三二二番

産婆開業

東京帝國大學醫學部 産婆復習科卒業

草野靜枝 平町研町九番地(公園下) 電話(呼)四四三番

學生服

厚本霜降小倉 小學生向(金壹圓四十五錢) 中學生向(金貳圓四十錢) 特(金貳圓四十錢) 金參圓 圓マデ

なかや洋服店 平二丁目(電話二〇三)

石炭とコークス

煙ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト、コークス。灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト、コークス。物ハ試メシ一俵御使へ下サイ

石炭 正味十貫目 金六十五錢

平驛前 **阿部石炭商店** 電話二三七番へ直ぐ配達致シマス